

2026 年 10 月 14 日

報道関係者各位

宇宙甲子園ロケット部門 2026 鹿児島大会
EPSILON CUP 2026 OSUMI-KIMOTSUKI supported by IHI Group
Ignite your dreams, your ideas, your team.
～夢に、知恵に、仲間に火を付けろ～

宇宙甲子園ロケット部門鹿児島大会実行委員会(実行委員長:永井 宏)は、2026 年 11 月 7 日(土)、肝付町内之浦総合グラウンドにおいて「宇宙甲子園ロケット部門 2026 鹿児島大会」を開催します。中学生・高校生等がチームで設計・製作したモデルロケットを実際に打ち上げ、高度と滞空時間の目標値への近さを競う大会です。

今年の鹿児島大会には 11 チームが参加予定。ロケットには生のうずらの卵と高度計を搭載し、目標高度・目標滞空時間を目指します。競技の舞台は、国内有数のロケット射場として知られる内之浦。宇宙開発の現場とつながる地域で、中高生等が「自分たちの手でつくり、打上げ」に挑みます。

本大会は、競技を通じて中高生の宇宙輸送・宇宙産業への理解を深めるとともに、肝付町が目指す宇宙分野の人材育成拠点づくりにつなげることを目的としています。

1 大会の注目ポイント

- ① 11 チームが内之浦で自作ロケットを打上げ 中高生等で構成された 11 チームが参加。各チームが製作したロケットを、内之浦総合グラウンドで実際に打ち上げます。
- ② 「卵を割らずに、狙った高さ・時間へ」 ロケットには生のうずらの卵(約 10g)と高度計を搭載。卵を安全に回収し、目標高度と目標滞空時間との差を小さくすることが勝敗を左右します。
- ③ 競技だけでは終わらない人材育成 優勝チームは宇宙甲子園ロケット部門全国大会への参加を推薦。全国大会は 2027 年 2 月、福島県南相馬市で開催予定です。

2 大会概要

名 称	宇宙甲子園ロケット部門 2026 鹿児島大会 EPSILON CUP2026 OSUMI-KIMOTSUKI supported by IHI Group
日 時	2026 年 11 月 7 日(土)9 時 30 分～16 時 00 分(予定)
会 場	肝付町内之浦総合グラウンド(鹿児島県肝属郡肝付町南方 1790-116)
参 加	11 チーム
主 催	宇宙甲子園ロケット部門鹿児島大会実行委員会 肝付町/宇宙・科学のまちづくり会議/肝付町教育委員会/鹿児島県宇宙開発促進協議会/ (一社)九州みらい共創/学校法人都築教育学園 第一工科大学/IHI グループ/ (株)きも つき未来商社そらまち/(一社)きもつき宇宙協議会/内之浦創星会/(公社)日本青年会議所 九州地区鹿児島ブロック協議会/(一社)鹿屋青年会議所
協 賛	IHI グループ/日本航空株式会社/宮崎日機装株式会社/株式会社ビー・シー・シー
後 援	鹿児島県/鹿児島県教育委員会/国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
協 力	前田 恵介(九州工業大学 特任准教授・宇宙甲子園実行委員会理事) 秋山 演亮(和歌山大学 教授・宇宙甲子園実行委員会代表理事)

3 参加チーム(11 チーム)

参加チームは次のとおりです。昨年の 8 チームを超える 11 チームがエントリーしています。

県内に加え宮崎県からも参加し、中学校・高校・附属中学校・青少年団体など、異なる背景を持つチームが内之浦で競技に挑みます。

(エントリー順)

No.	チ ャ ム 名	所 属	人 数
1	宮崎西高ロケットチーム	宮崎西高等学校物理部	4
2	ディアーヌ	楠隼高等学校	4
3	どせいさん	楠隼中学校	5
4	マッハ 11	楠隼中学校	6
5	アフエリオン	楠隼中学校	3
6	ICES (Ikeda Cosmic Engineer Squad)	池田高等学校	3
7	宇宙少年団鹿児島分団	日本宇宙少年団鹿児島分団	4
8	初心者の会	鶴丸高等学校	4
9	甲南高校	甲南高等学校	4
10	宮崎北高校科学部ロケット班	宮崎北高等学校	4
11	MASA	宮崎西高等学校附属中学校	8

4 大会レギュレーション(概要)

競技では、各チームが自作した 1 段式モデルロケットを 2 回打ち上げます。2 回のうち、ポイントが少ない方の記録を採用します。ポイントは、目標高度・目標滞空時間との差などを基に算出され、より少ないチームが上位となります。

■ 機体:全長 300mm 以上、重量 150g 以下。市販キットを一部変更しただけの機体は使用不可。エンジンは 1 本のみで、トータルインパルス 10N・s 以下。回収装置はパラシュートのみ。

■ 搭載物:生のうずらの卵 1 個と高度計 1 個を搭載。卵は金属以外の部材で保護します。

■ 目標高度:B 型:250ft(76m)／C 型:459ft(140m)。記録高度との差の絶対値がポイントになります。

■ 目標滞空時間:B 型:16～18 秒／C 型:25～28 秒。目標範囲内は 0 点。範囲外は目標値との差に応じてポイントを加算します。

■ 着地位置:点火点を中心とする半径 5m 以内に、減速機構を含む卵・高度計搭載部全体が着地すると、計算ポイントから 5 点を減点します。

■ 安全・失格:卵にひび・割れが生じた場合は記録なし。危険飛行、部品脱落、卵への細工、高度計改変、他チームへの妨害等は失格。

■ 判定への異議:各チームは競技時間中に最大 1 回、機体着地から 3 分以内に異議を申し立てることができます。申請後 5 分以内に判定が決まらない場合は、元の判定を維持します。

5 参加チーム・選手について

参加チームは、原則として日本で活動する単一の学校または組織に所属し、中学 1 年生から高校 3 年生、または高等専門学校第 3 学年までの生徒で構成されます。1 チーム 3 名以上 10 名以下で、チームには成人の監督者を置きます。ロケットの設計・製作にはチームメンバーのみが参加し、監督者や第三者はアドバイスのみ行うことができます。

監督者・参加者は安全講習資料を確認し、安全な競技運営を徹底します。

6 取材について

大会当日は、会場内での取材、撮影が可能です。

取材を希望される場合は、事前に下記までご連絡ください。

(お問い合わせ先)

宇宙甲子園ロケット部門鹿児島大会実行委員会事務局

(肝付町宇宙のまちづくり推進課)担当:上籠

電話:0994-65-2514 メール:space@town.kimotsuki.lg.jp